

二〇一一年★春号

九段会計通信

発行：九段会計事務所

東京都千代田区九段北4-1-1
電話：03-3222-5271

暦の上では、もう春ですね！寒さを通り越えて、早く暖かくなれば良いのですが…

◆目次◆

- ・ 所長挨拶
- ・ 社長を知る！「有限会社衆屋様」
- ・ 書評『代表的日本人』
- ・ 新入所員紹介
- ・ 寄附金控除のお手伝い！



所長挨拶

九段会計事務所 代表 税理士 高木 功治

東日本大震災で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一日も早い復興をお祈り致します。

連日、被災された方々の報道を目にします。大津波の爪痕が生々しい瓦礫と化した沿岸部の映像。小さなお子様を亡くされた親御さんの悲しむ姿。心からの悲しみに、胸が張り裂ける思いです。こんな悲劇が想像もできない位に積み重なっている事を思うと、一瞬思考が停止してしまいます。

私もこの震災を体験し、色々な想いが込み上げてきました。生きている事に感謝し、生き残っている我々が精一杯がんばって与えられた命を生き抜く事。今高まっている被災者への想いを、そのまま3年5年と継続する事。そして、「自分には何ができるのか」を考えた時、ぐるぐると色々な考えを巡った後、今置かれた立場の中で目の前の事に精一杯取り組み、自分が出来ることを積み上げていくしかないという事に辿り着きました。

私の周りの経営者様は、震災後間もなく色々な活動の自粛は止めようという声が上がっていました。が、ようやく最近になって、世間一般にも自粛ムードも薄らいできた感があります。人を思いやる心を大切にしている日本人として自粛の気持ちは当然ですが、経済が停滞し被災者支援が出来なくなれば本末転倒です。できるだけ自粛は止め、みんなが通常の活動をして経済を活性化させる事が支援に繋がります。

地震発生からこれまでの間、経営者の皆様も、今までに経験の無い意思決定が連続し、心身ともに疲労が蓄積されている事と思います。前代未聞の出来事への対応は、会社や従業員、お客様に対する本当の想いが試され、その結果一つにまとまった会社、あるいは、そうでない会社、様々な変化が生じたのではないのでしょうか。

さて、穏やかに回復していた日本経済でしたが、この大震災の影響で急激に落ち込んでしまいました。操業自体出来なくなつた企業は元より、関東圏での計画停電の影響も企業の生産活動の制約となり経済活動の停滞に拍車を掛けてしまいました。

当面は徐々に回復の方向に向かうものの、夏の計画停電の影響でまた停滞してしまうことが予想されます。少なくとも夏の暑さが終わるまでは、辛抱の時期になるでしょう。その後は財政の復興需要などにより向上向く事が考えられます。

残念ながら、電力問題と原発問題について、いつ元に戻るかの見通しを立てる事は非常に困難で、さらには長期化が見込まれます。日本経済の先行きに対する不透明感是非常に強いと言わざるを得ません。

景気の良し悪しのレベルではなく、ビジネスの複数の前提が狂ってしまい、経営者の皆様にはビジネスモデルそのものを変えていく、あるいは調整していく必要に迫られています。ビジネスの前提の変化を感度よく捉え、利益が出る仕組みをスピード感を持って作り直す事が求められています。

この悲惨な大震災で、日本人の他人を思いやる心、辛抱強さなど、我々が普段見えていなかった面がはつきりと見えてきました。日本人としての誇りや絆が深まりました。これらの事を海外から称賛されると、日本人として単純に嬉しいですし、日本人の誇りとしてずっと守り続けなければならぬと思います。我々中小企業の経営者こそ、心を一つにして、この国難に立ち向かっていきましょう！



★第7回★

社長を知る！

九段会計事務所 所員 小林 明史

はじめまして！今回「社長を知る」を担当させていただきます。三月入社した新人の小林と申します。この度発生いたしました「東北太平洋沖地震」に関して、被害に遭われた皆様へは心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

私は阪神大震災の際にも大阪で体験していたのですが、人生でこういった大災害を二度も経験するとは思っておりませんでした。今回は地震の揺れだけでなく、津波、原子力発電所の問題と、その影響が多岐にわたっており、私たち自身も節電等により一刻も早い復興に尽力しなければならぬと思います。
さて今回インタビューさせていただくのは有限会社楽屋の塚田健一社長です。

塚田健一社長



〈有限会社 楽屋様〉
塚田健一社長が代表取締役を務められている有限会社楽屋様は創業八年になり、主に注文住宅を群馬県を中心に建築しておられる会社です。昨今の厳しい経済環境の中で、順調に売上高を伸ばしており、注文住宅見学会の参加者も急増している破竹の勢いの顧問先様です。

小林「以前は大手ハウスメーカーで長年にわたってお勤めされていたとの事ですが、起業しようと思われたきっかけを教えてくださいたいと思います。

社長「一つはサラリーマンとして充実していて、自分の中でやりきった感覚はありまして、サラリーマンとしての後悔はもうないなと思っていました。二つ目は年齢的なものがありました。高校卒業の頃から独立願望がありまして、ずっといつかという事業をしようかという事を考えていました。今から約八年前の三十二歳の時に独立したんですけど、体力的に独立すればしばらくは大変な事になるだろうと思っていて、開業するならば三十二歳位がぎりぎりの年齢なんじゃないかと考えました。サラリーマン時代は、リーダー・経営者としての知識や経験を積ませ

てもらっていて、ずっと独立の為の勉強をしていた感じですよ。前にお世話になった会社にはそんな事言えないですけど(笑)



小林「サラリーマン時代には自由にやりたい事ができない状況みたいなものもあったのでしょうか？」

社長「ありましたね。やっぱり建築が好きだったんですけど、自分の好きな建物は建てられない部分とか。どうしても既製品を売ってますから、もっと安くして良い物を作れる方法を知っているのに、それができないというジレンマみたいなものはありました。

小林「ご自身の中でこれまで企業経営をされてきて意識されている事はございますか？」

社長「たくさんありますけど、一つだけいうなら、うちの会社にはクレド(信条)というものがあります。その中にあるピンチチャン精神というものがあるんです。「ピンチをチャンスに」それは私が持っている唯一の才能じゃないかなと思います。今もたくさんピンチを抱えています。私はそのピンチを神様がくれたというメッセージだと思っています。「そこが違ってるよ」、「そっちじゃないよ」、「こうすればうまくい

くよ」というメッセージをもらっているとイメージです。これは昔からなんですけど、ピンチを乗り越えた後でしばらくたってから、どういったメッセージだったのかという答えが出るんです。問題が起きて解決するのは当たり前なのですが、問題を解決した後に自分に対する何のメッセージだったんだろうか？という事を常に考える様にしています。

小林—今後の会社の方向性などを教えていただけますか？

社長—第二創業と捉え、五カ年計画を作成し、●ハイクオリティ●グッドデザイン●コストパフォーマンス●スペシャリティという四つのコンセプトを持ったブランディングをしようと思っています。設計をしている中でゴールはないんですよ。設計に一時間多く時間をかけるだけで、もつと良くしてあげられるんです。働いているそれぞれ個人がプライドを持ってやるかどうかで全然クオリティが違います。私たちが作っているのは建物ですからそういった部分があるに出てくるんです。約一年前からこのブランディングを基に建物を建て始めているんですが、住宅見学会の件数が飛躍的に伸びているんですよ。以前は一日平均二十五組くらいだった所が、最近では一日平均四十五組になりました。広告や営業が上手になるよりも、まずは良い物を作れば、それが一番の近道だと思えますし、信頼につながってきているんだと思います。

小林—先程のお話の中に出てきた四つのブランディングの意識をどうやって従業員の方々に浸透させていったのでしょうか？



社長—毎年半期ごとに必ず事業計画というロードマップを作るんです。上期の修正が下期という感じですね。目標の数字も以前はただ計算を積み重ねた数字だったんですが、売上も7777ラッキーセブンだよとか、費用は1717777いいないいなだよとか数字に魂を入れる様になりました。数字に魂を入れて、生き物として扱える様にしました。すると従業員たちにも浸透するんですよ。数字以外の細かい部分は従業員から議題をあげさせてディスカッションをします。目標というかやっていきたい事は仕事をしながら、思いついた時に手帳等に書き溜めていき、それをみんな最後にまとめ上げていくんです。そうやって自分達で作っていった物には

魂があるんです。こちらから作らせた事業計画に対して、自分達で考えた事業計画はぶれないんです。そういった事をコツコツとみんな協力して繰り返ししていく事で一つのブランドになっていくと思っていますね。五年後には「注文住宅なら築屋さんだね」と言われるようにしてみせます。

小林—最後に今回の震災について何かお考えになられている事があれば、お聞かせ下さい。

社長—これから私たちにできる事はやはりこの電力が不足している状況を認識して無駄を省くということでしょうかね。使わない時はパソコンの電源を切るとか、計画停電に合わせて仕事を組むとか、色々出来る事はあるはずなんです。これは私たちがだけではなくて国全体がみんなやらなくちゃいけない事だと思うんですよ。これはメッセージとして経営者の方々だけではなく、全ての日本人に伝えたいですね。まずはやはり目の前の自分達の仕事を、みんな協力して電力を節約して、国の復興を待とうという事だと思いますね。それが「和」の心・ジャパンプライドだと思いますよ。



小林です

「インタビュを終えて」

全ての話が私にとっては感動の連続で非常に貴重な時間になりました。紙面の都合上により割愛をしてみました。特に印象に残っているのは「建築は愛と根性」この言葉の意味がわかる人は本気で注文住宅に取り組んでいる人！との事です。どんな細かい事でもお客様の為により少しでも良い物を作ろうと考える「愛」、より良いものを作る為に完成している物を何度でも一から作り直す「根性」が不可欠との事でした。我々も本当に見習わなければいけないなと思えました。

本当にご多忙な中、長時間インタビューにお付き合いただいた塚田社長、本当にありがとうございました。



書評 『代表的日本人』内村鑑三

九段会計事務所 所員 新井 良平

ビジネスアイデアの源泉はビジネス書以外にあります。ということで、最近読んだ本をご紹介します。

1908年初版の内村鑑三著『代表的日本人』は、日本が誇るべき五人の日本人について書かれた本です。五つの人生を振り返りながら、その人生を振り返り、学ぶべき点や賞賛すべき点を挙げています。日清・日露戦争前後のこの時

代にあつて、この本が日本語で書かれたものではないということは驚くに値します。同じく英語で日本について書かれた『武士道』の著者である新渡戸稲造と同窓であり、日本の文化や価値観を世界に発信する走りであったといえます。内村らが海外留学等を通して感じた日本への愛、日本の良さを海外へ発したいという気持ちになりました。この本ではないでしょうか。

さて、この本で取り上げられていますのは、西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮の5人です。西郷隆盛の章には「新日本の創設者」という副題が付いていて、明治維新に関して「西郷なくして革命があつたか」と疑問であります」という一文があります。この時代、木戸孝允や大久保利通といった多くの高名な人物がいましたが、西郷隆盛が新国家に関する明確な理想やビジョンを持って原動力となり、その方向性を基に他の有能な人物が事をなしていったと著書は見ます。政府の要職だった西郷はその政府の意思決定の不透明さに失望したところなどから袂を分かち、政府への反乱軍の指揮者となり、謀反者として命を落とします。西郷の命を奪った者すら涙ながらに葬ったというのが、「最後のサムライの最期」でした。

上杉鷹山というのは米沢藩（現山形県）の藩主であり、故ケネディ米元大統領が尊敬する日本人として名前を挙げたのが有名です。荒れ果てた田畑、幕府に石高を減らされたにも関わらず減らない家来への賃金。企業で言えば債務超過、大赤字の状態で藩主となったのは、鷹山が

十七歳の時です。藩内の土地に漆などの植物を植えさせて産業を興すなど、精力的に活動して藩の改革に乗り出しました。改革に反対する幹部の排斥をして改革の態勢を作ったり、藩主自ら粗末な食事や衣服を長年続けたりするなどして民の求心力を得てゆきます。その結果、藩の建て直しに成功したのです。民を思う気持ち、トップ自ら実践する姿勢、藩を立て直す大局観から経営の参考にする人が近年増えていると聞きます。

二宮尊徳は別名二宮金次郎といい、小学校などに像があるのが良く見られます。江戸時代は勉強する暇があれば労働せよ、という価値観でしたので、夜遅くや、山から薪を運びながら勉強するなど苦勞人でした。「仁愛、勤勉、自助」 「誠心誠意、忍耐強く仕事に励むならば、繁栄できる」など、道徳を基に農地を改革した人です。鷹山と同じく、自ら実践する人でした。誰よりも長く働き、農民の仕事を公正に評価して求心力を高め、貧しい地方を大量の米が収穫できる農地へと変えてゆきました。勤勉な労働を美德とし、その普及により貧しい農地を豊かにしていったのです。

後半2名、中江藤樹、日蓮に関しては紙面の都合上割愛といたしますが、使命感を持つこと、非難されても曲げないことなど、誇るべき点を挙げています。一読をお薦めしたい一冊です。



〔新入所員紹介〕

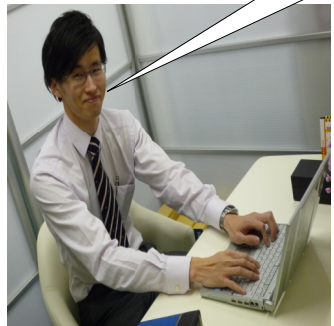
小林 明史(こばやし あきふみ)

熊本生まれ大阪育ちですが、非常にきれいな標準語を話すと言われます(笑)

学生時代から本格的に運動していたわけではなく、特技と呼べるほどのものはありませんが、一人でも多くの方に笑顔と元気を届けられればと思っています。
是非よろしく願います!

「なんでやねん！」
という突っ込みはしません。

編集担当
新井



★ 寄附金控除(確定申告)!
無料でお手伝いさせていただきます!
皆で震災を乗り越えましょう!!
九段会計事務所 一同

被災地のため、医者は診療を行い、音楽家がライブをする。学生はボランティアに行き、有志が物資を募って送る。それぞれの方々が今できることをやっています。我々もずっと考えていました。会計事務所として、何か復興に役立てることはないか、と。そこで、九段会計事務所では、来年度の寄附金控除に関する確定申告を無料で協力させて頂くことに決めました。顧問先の方々をはじめ、皆様に安心して寄附をして頂くことで、間接的にでも被災地の方々に応援します。それが九段会計事務所として、今できること。お客様のため、社会のため、それが九段会計の行動指針です。

「寄附金控除」とは、義援金などを払った場合に税金が優遇される制度です。具体的には、寄附した金額のうち一部を所得税や住民税の計算額から差し引くことができます。ただし年末調整ではなく個人的に確定申告をする必要があります。慣れない手続きに精神的な壁は大きいと思います。そこからは我々の出番です。
社長や幹部・社員の方々が義援金を寄附されましたら、支払った証明書を保管して頂き、ご相談下さい!(還付申請は期限後申告でも問題

はないため、申告期限を超えての申告とさせて頂く場合がございます。)お知り合いの方でも結構です!なお、義援金の種類によりましては控除対象外となりますのでご注意ください。例えば「日本赤十字社」を通しますと控除の対象となります。逆に「コンビニや街頭の募金箱」では控除対象になりません。

このような非常時こそ自らが出来ることを実行し、支え合って、以前を上回る強い日本を目指しましょう!
(編集後記)

編集担当の新井です。地震という言葉について他の言語を調べてみたところ、多くの言語においては地震という単語が存在するようです。なぜかフランスだけは、「地球が揺れる」という文でしか地震を表せない。同じラテン語を語源とするイタリア語等では地震という単語がある以上、フランスの少地震文化が背景にあるのか、原発が多い国だからという政治的背景があるのでしょうか:

なお、「津波」はフランスをはじめインドネシア、タイ、アラビア、ロシアなど全世界でほぼ同じ「ツナミ」という発音です。日本が津波先進国だということが分かります。先進国として、今回の災害から学び、全世界の平和に貢献しますように。



企画・デザイン・試作から筐体設計まで
総合的な開発業務を行っています。

工業力学
かゆまされた
高性能オーバー
オリジナル製品

楽しく! 便利に!
簡単に!

イーヴォ
[eg]



こだわりをこの形に

unlimit 有限会社 アンリミット・ジャパン

〒206-0014 東京都多摩市名田 1154-1 多摩ファイブプラザビル 2 F
TEL 042-355-7110 FAX 042-355-7118
http://www.unlimit-j.co.jp

GRAPHIC DESIGN

あなたの「……したい!!」を
デザインいたします

印象に残る
会社案内を
新規制作
したい!!

販売促進用に
新商品の
カタログを
作成したい!!

お店の
ロゴ・メニュー・
チラシ・POPを
新しくしたい!!



企画・デザイン・撮影・印刷納品までの
一貫したご依頼も承ります。

gg 有限会社 グラン gren
〒150-0011
東京都渋谷区東1-11-13
☎03-5485-3085
☎03-5485-3086

当社資料を
ご希望の方は
ぜひご連絡
ください。

中央物流有限会社

物流でああなたのニーズにお応えします。

- ・一般貨物自動車運送事業
- ・産業廃棄物収集運搬事業
- ・倉庫事業(保管・荷役)
- ・引越、移転作業等

〒208-0023
東京都武蔵村山市伊奈平2-75-3
電話:042(520)2636
FAX:042(520)2635

ホームページのデザイン・制作
WEB SYSTEMの開発



PHASE
System.Produce&Management
株式会社フェイズ

当社ではお客様のニーズに合わせたホームページを
制作致します。お気軽にお問い合わせ下さい。

ホームページデザイン + システム制作
社内LANやサーバー構築などのイントラネット環境整備・設置

info@phase.jp Tel. 03-6908-5012
http://www.phase.jp/

広告の
ソコチカラ
をみせます!

ポスティング以外でも、
お手伝いできることが、
きつとあります。

株式会社スマートライン
〒121-0836 東京都足立区入谷 9-12-7
tel:03-5839-8861 fax:03-5839-8862

これさえ知っておけばOK!

**プライバシーマーク
取得ガイドブック**

まずは
ご連絡ください

コンサルタント紹介

池田 昌史
株式会社エム・ソフト
プライバシーマーク取得
プライバシーマーク取得
プライバシーマーク取得
プライバシーマーク取得

株式会社エム・ソフト
〒117-0034 東京都文京区本郷 1-13-13
代表取締役 池田 昌史
〒117-0034 東京都文京区本郷 1-13-13 大塚セントラルビル4F
TEL 03-5662-1321
FAX 03-5662-1322

株式会社エム・ソフト
〒117-0034 東京都文京区本郷 1-13-13 大塚セントラルビル4F
TEL 03-5662-1321
FAX 03-5662-1322

お問い合わせ
0120-966-831
pmark-consul@aim-soft.co.jp

チラシご持参の方ディナータイム10%off

ネパールインドレストラン&パースバ

中野南口店
中野区中野2-28-1
プロスベア中野1F
TEL:03-3229-4555
http://www.subha.co.jp/index.htm



★広告募集! &
「社長を知る」
出演者募集!

無料で広告出しませんか?
貴社と弊所の
<Win-Win>を目指す
～九段会計事務所～

GRAY SCALE

中国ビジネスにご興味があればグレイスケールまでご連絡を!
豊島区西池袋 3-31-8-2F
TEL: 03-5949-5667 http://www.gray-scale.jp/